

災害時に自らを守るために備えましょう

はじめに

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から防災・減災について、家族や支援者と話し合い、どのような準備をしておくか考えましょう。

■水や食料の備蓄

- ・物資補給の支援体制が整うまで**最低3日分を備蓄！！**飲料水は1人1日3ℓ必要です！！
- ・首都直下地震では、物流の復旧などに更に時間がかかることが見込まれるため、**1週間分程度の備蓄**が推奨されています。

■震災時のけが対策

阪神・淡路大震災では、けがの原因の約75%が家具の転倒・転落や割れたガラスによるものです。

●ガラスの飛散を防ぐ

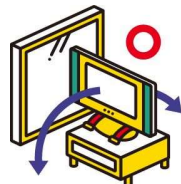
○ 飛散防止フィルム



○ カーテン



○ 家具・家電の配置



○ 食器棚内の対策

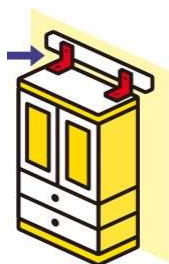


- ・滑り止めマットを敷く
- ・棚の扉にロックを付ける

●家具の固定

L型金具、ベルト式器具、ポール式器具など、いろいろな種類があるので部屋に合わせて器具を選び固定しましょう。

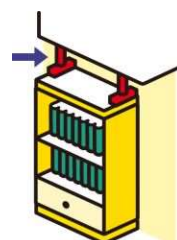
○ L型金具



○ ベルト式器具



○ ポール式器具
(つっぱり棒)

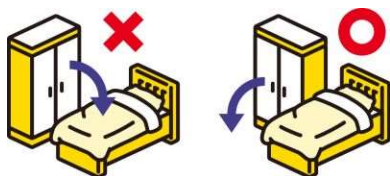


◎高齢者世帯の方は軽度生活支援事業により、家具の転倒防止器具等の取り付けの支援（有料）が受けられます。器具等はご自身でご用意ください。

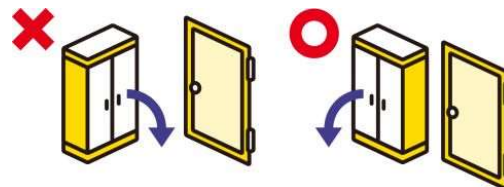
問い合わせ：長寿支援課（048-259-7652）

●家具の配置

・寝ている上に倒れてこない配置



・倒れたときにドアをふさがらない配置



避難・救助の通路を確保

■備えるもの

災害時は、非常持ち出し袋と二次持ち出し袋を分けるなど、工夫するとよいでしょう。二次持ち出し袋とは、一時的に帰宅が可能な場合持ち出すものです。また、疾病や障害などに応じ必要なものをプラスして備蓄しましょう。

- 非常持ち出し袋：貴重品、命を守るもの、必要最低限のものを備えましょう。
- 二次持ち出し袋：衣類などを備える場合は、季節に応じ定期的に中身を入れ替えましょう

貴重品

- 現金・預金通帳、印鑑
- 携帯電話
- 免許証、保険証
- 家・車の予備のカギ

清潔・健康のために

- ビニール袋・ゴミ袋
- LED ランタン・ヘッドライト
- ホイッスル
- モバイルバッテリー・電池
- 災害用トイレ（携帯トイレ）
- トイレットペーパー
- 着替え（下着、防寒着、雨具）
- 洗面用具、歯ブラシ、タオル
- 口腔ケア用ウェットティッシュ
- 生理用品
- 常備薬や処方薬、お薬手帳
- 化粧品（乳液やリップクリームなど）
- 水のいらないシャンプー
- 不透明のごみ袋（排泄物の処理など）

食料品など

- 非常食（加熱不要なものが便利）
- 飲料水（1人1日3リットル）
- カセットコンロ（カセットボンベも）
- 食品用ラップ、紙皿・紙コップ
- スプーン・フォーク

高齢の方

- おかゆ等やわらかい食品
- 紙おむつ
- 入れ歯洗浄剤
- 補聴器用電池

障害のある方

- 障害者手帳
- ヘルプカード

感染症対策

- 体温計
- 消毒液
- マスク

■いろいろな手段で情報を入手しましょう

いざという時に備え、情報を入手する手段を確認しておきましょう。

○防災行政無線テレフォンサービス

放送内容を電話で確認できます。

0800-800-4344（通話料無料）

○ラジオ

・FM Kawaguchi（FM 85.6）

○メール

防災行政無線の内容などをお知らせいたします。

① 下記のアドレスに空メールを送信

きらり川口情報メール
kawaguchi-mail@sg-m.jp

② 返信されてきた登録用ホームページにアクセス

③ 画面の内容に従い登録または変更



○ホームページ

- ・市役所ホームページ
- ・気象庁ホームページ
- ・川口市防災気象情報

○テレビ

- ・リモコンの **d ボタン** を押すとデータ放送で市の防災情報が確認できます。

○防災本・防災本【別冊】

ハザードマップ、避難所、備えについての情報が確認できます。



<配布場所>

第一本庁舎、各支所、公民館等